※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭総合　自立・共生・創造」（東京書籍）						
副教材等	新課程　家庭総合　学習ノート　自立・共生・創造　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私たちの生活をめぐって、さまざまな課題があります。それらの課題に向き合って、科学的、体験的な力をつけながら、健康、快適、安全で安心な持続可能な生活をめざしていくのが家庭科です。家庭科にはさまざまな領域があります。それらの領域で学んだことを自分の暮らしと結びつけて考え、よりよい生活をつくるためにどうしていけばよいかを考えながら、学びを深めていきましょう。
・プリントの評価では、各自の考えを記入する項目に重きをおいています。『自分の暮らしと結びつけ、よりよい生活をつくる』という意識で、具体的・多面的に記入しましょう。また、授業のポイントや補足の説明などを枠外に記入していれば、それも評価します。
・成績は定期考査、提出物、小テスト、実習の作品点、出席その他（授業に前向きに取り組んでいるか・忘れ物がないか等）で決まります。特に、実習の欠席は大きな減点になります。休まずまじめに授業や実習に取り組み、提出物は期限までに出すこと。

2　学習の到達目標

〞生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3) 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	**生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価･改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。**	**様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。**

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自分や家族について考える	第１章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる 第２章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族･家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	a:自立した生活を営むために、様々な生活課題に対応して適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることを理解できている。 b:固定的な性別役割分業意識の見直しや、現代の家族・家庭の課題を経済や制度などの社会環境の変化と関連付けて理解し、解決策を考えることができる。 c:様々な生き方があることを理解し、誰もが生きやすい社会の創造について考えを深めている。	定期考査	定期考査 プリント 学習ノート	プリント 学習ノート
前期 後期	保育	第３章 子どもと共に育つ 1 命を育む 命への責任 妊娠の経過と親の役割 心身の発達 2 子どもの育つ力を知る 親と子のかかわり 乳幼児の生活と安全 5 これからの保育環境 子育て支援と福祉 さまざまな子育て支援策 こどもの権利･虐待	a:・母体の健康管理の重要性と生命の尊さへの認識、母体と子どもの健康には、家族の協力とそれを支える社会のしくみが必要であることを理解している。 ・乳児期の親との関わりによる愛着の形成は、将来の人間関係の基礎となることを理解できる。 ・現代社会における子育て環境の問題を知り、子育て支援の必要性について理解している。 b:・現代の子どもを取り巻く社会環境の課題について理解し、解決策を考えている。 c:こどもを生み育てることの意義や地域の一員として子どもの成長に関わることの意味について考えを深めている。	定期考査	定期考査 プリント 学習ノート	プリント 学習ノート
後期	衣生活	第７章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 自分の衣生活を振り返る 被服の機能 2 被服を入手する 被服の選び方･被服の素材 3 被服を管理する 洗濯方法と表示 洗濯のしくみ･手入れと保管 4 被服を作る 作品製作 6 これからの衣生活 持続可能な衣生活	a:・被服製作に必要な基礎的な知識・技術を身につけている。 ・被服を購入する際の留意点、被服管理の手順を理解し、実践できる。 b:・被服の持つ機能を生かし、望ましい着装について考えることができる。 ・被服の有効利用について考えている c:・被服製作に意欲的に取り組む態度がみられる。 ・被服の適切な管理、手入れについて主体的に取り組む態度がみられる。 ・環境に負荷を与えない衣生活についての行動を考え、実践することができる。	定期考査 実習作品	定期考査 プリント 学習ノート	プリント 学習ノート 実習の出席 とりくみ態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度